

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ



長崎県と韓国釜山との さらなる交流促進に向けて

長崎県文化観光国際部国際課 鈴木 史朗

クレアソウル事務所に、所長補佐として当初2年、さらに駐在員として5年にわたって長崎県から派遣され、海外勤務という貴重な経験を積ませていただき、私にとって大きな財産となりました。

本県は韓国との歴史的交流の積み重ねや地理的近接性という強みを、観光面、産業面など県内産業の活性化につなげようという戦略のもと、自治体の要望に基づき、クレアが新たに立ち上げた海外事務所における「駐在員制度」を活用し、実質的な県事務所の機能を果たすべく、駐在員の派遣を2013年度から開始し、現在にいたるまで、観光、物産、交流などの県のさまざまな取り組みに関し、現地での窓口として、情報収集や人脈構築などを行っています。

私が駐在員として活動した当時の思い出として、特に印象に残っていることのひとつが、本県と釜山市との友好交流関係の立ち上げです。本県対馬市と釜山市は、玄界灘を挟んで、江戸時代を中心に日本と朝鮮の間を行き来した「朝鮮通信使」を再現したイベントの開催など、交流事業に長年取り組んでいますが、この駐在員派遣開始を機に、県レベルとしても、釜山市との交流を促進しようという機運が高まり、本県側から釜山市に対し友好

交流協定の締結を提案しました。結果、具体的に、博物館交流などの文化・学術交流、学校交流などの青少年交流、共同での観光客誘致など、多岐にわたる分野において、協力した取り組みが行われ、2017年には対馬市と釜山市の民間団体がユネスコに共同申請した「朝鮮通信使」が世界記憶遺産として登録されたことにより、本県と釜山市との間に活発な交流促進の機運がさらに高まることになりました。

2024年はこの交流関係が生まれてから早や10年を迎えますが、これまで築いてきた信頼関係を礎に、今後もさらに交流を深めていければと思っています。私個人としても、赴任していた間に縁があった方々との関係を大切にしながら、今後も交流を続けていきたいと考えています。



釜山市との交流協定調印式の様子（2014年3月）



朝鮮通信使祭り（釜山市における行列パレード）

プロフィール・ほか

- 現所属：長崎県文化観光国際部国際課
- クレア在籍時の所属：
 - 2009年4月～2010年3月 総務課
 - 2010年4月～2012年3月 ソウル事務所（所長補佐）
 - 2013年4月～2018年3月 ソウル事務所（駐在員）